

かつての松戸の建物

江戸時代、松戸は水戸方面から江戸に入る最後の宿場町として繁栄しました。これらの写真は、明治以降もこの付近がとも栄えていたことを物語っています。...



料亭 富吉



旧原田米店



旧海老屋



松戸警察署



松戸区裁判所



千葉県立高等園芸学校



鍋新百貨店 (ナベシン)

今も残っている建物があるので、探してみよう!

大正から昭和初期の松戸のまち並み



左は松戸警察署



松戸2丁目を走る渡辺バス

水戸街道



平湯道



かつび屋

【提供 渡辺澄氏】



水戸街道

明治期の松戸

松戸の地名は平安時代に書かれた「更類日記」のなかで、「...しもつさの国と、武蔵の境にあるふると川と云うかかみの瀬まつさとのわたりの津にとまりて、夜と夜、ふねにてかつつものなどわたす...」と書かれているまつさが松戸であると言われている。...

【提供 森山信夫氏】



【関宿通多功道見取絵図 四巻之内 壹】より松戸宿付近 (1800年頃、寛政年間)

水とみどり歴史の松戸地区 回廊マップ



歌人と謝野晶子も「丘の上 雲母の色の江戸川」見ゆるあたりの一むらの朝粟「うすもの女の友を待ちえたたる松戸の丘のひなげしの花」と詠んだ歴史のまち松戸。...

船だり子大生2人が歴史ある松戸をご案内します。 歩いておよそ120分のコース、シェアアップ気分でレッツゴー!

水とみどりと歴史の散策路 (約5.0km)

01 平瀧神社 (水神社)

祭神は水神様の水波之女命 (みずはめのみこと) で秋葉・稻荷・三峯・八坂各社を合祀しています。また、平瀧神社は水神社として江戸川沿いの水運とも関わりがあった当地では信仰も篤かったといわれています。

02 来迎寺

親縁山来迎寺は、慶長14年(1609年)に創建された浄土宗の寺院で小金東漸寺の末寺です。境内には松戸二十七ヶ所第十三番の大師堂や六角灯籠型穴地蔵が祀られています。かつて平瀧にあった塔楼九十九樓の礎が現存しています。(非公開)

03 西蓮寺

光明山西蓮寺は、京都市の東本願寺の末寺として江戸時代前期、文禄3年(1594年)に下矢切に創建された浄土真宗大谷派の寺院で、慶長18年(1613年)に現在地に移転されました。本尊は阿弥陀如来で本堂は嘉永4年(1851年)に再建されたと伝えられています。...

04 旧原田米店

旧水戸街道沿いにある米屋で、これらは明治末に建築されました。軒を出桁造(だしげつくり)、1階正面を前戸(しとみど、上げ下げの戸)とするなど幕末以来の2階建商家の形式を踏襲しています。骨組みの木は太く丈の高いトミミを造りて厚重な建て構えをしています。*

05 善照寺

松戸山善照寺は、流山市(旧名郡村)の清涼院の末寺として松戸向山に創建された真言宗霊山派の寺院で、慶長16年(1611年)に現在地に移動されました。本堂の本尊は聖観音で、現在の不動堂は文化6年(1809年)に焼失後、同8年に再建されたと伝えられています。...

06 宝光院

真言宗霊山派の寺院で梅牛山と号し、本尊は不動明王です。明治まで宝光院の歴代住職は、別当として御嶽社(祭神は蔵王権現。現在の松戸神社)の護持と管理に努めました。現在の社殿を幕末期に造営した高城義海大僧正は宝光院で出家し、後に東京の蓮国寺、奈良の総本山長谷寺や室生寺の住職を歴任した高僧として善名です。...

07 旧松戸宿本陣跡

幕府が水戸街道を整備すると、松戸と小金は宿場町として繁栄しました。現在の松戸郵便局の辺りには大きなお宿場施設である本陣や脇本陣がありました。そして、日本陣は幕末の火災で焼失して直後に再建されたことと推定されていますが、平成16年に取り壊されました。

08 御料傍示杭跡

江戸時代、水戸街道を船でつなぐ渡しは重要な関門であり、金町側に関所が設けられていました。通りは渡船場とと呼ばれ、両側に旅籠屋や船持魚問商が軒を連ねて、松戸宿の出入を示す傍示杭が立てられました。平成7年に「是より御料松戸宿」の碑が立てられました。

09 圓慶寺

延暦寺の末寺として創建された天台宗の寺院で創建年月は不明です。坂川は、江戸川の水位上昇に伴い江戸川から坂川へ逆流することから、古い記録には逆川とあります。その逆流防止のために造られたのがこの樋門で、レンガ橋・眼鏡橋と親しまれ明治のレンガ築造技術に今も伝える貴重な施設です。

10 小山樋門

明治31年(1898年)に造られたレンガ造りの樋門で、千葉県内に現存する最も古いものとされています。坂川は、江戸川の水位上昇に伴い江戸川から坂川へ逆流することから、古い記録には逆川とあります。その逆流防止のために造られたのがこの樋門で、レンガ橋・眼鏡橋と親しまれ明治のレンガ築造技術に今も伝える貴重な施設です。

11 浅間神社の極相林

多種多様な植物の状態(相)が、時間の経過によって変化しながら、最終的には安定した状態に至った場合を極相と呼びます。浅間神社には、タブノキ等を主体とするこうした極相が今も維持され、千葉県指定天然記念物となっています。

12 松龍寺

広大山高橋院松龍寺は、慶長18年(1613年)東漸寺末寺として小山に創建された浄土宗の寺院で、慶安3年(1650年)に当地へ引寺し再興されました。本尊は阿弥陀三尊です。境内には松戸宿最初の基本領主 高木筑後守(たがきちくこのかみ)の五輪塔墓や松戸宿代々の名主の墓があります。

13 松戸神社 (旧御嶽社)

明治15年までは御嶽社(みたけしゃ)と称し、水戸徳川家の崇拝を受けて里人の熱心な信仰を集めていました。祭神は日本武尊(やまとたけるのみこと)で、東征の際に随伴の吉備武彦連(きびのたけひこのむらじ)・大伴武日連(おおともたけひこのむらじ)らと待ち合わせた陣地の跡地に社殿が建てられたと伝えられています。

14 坂川

坂川の小山から赤坂(あかいり)樋門までの950mでは、貴重な水辺として潤いやゆとりを与えてくれる川に生まれ変わらせる「河川再生事業」が行われています。かつて坂川は「日本一汚い川」といわれていましたが、近年ではアユ、ウナギ、カニ、エビやハグロトンボをはじめとする様々な生き物が生息する清流が蘇りました。

15 松先福荷神社 (宮田福荷)

京都の伏見福荷大社を勧請(かんじょう)したもので、昭和57年に再建されました。「松先」の名称の由来は、同じ目的で伏見へ行く早加の人々と千住宿で同宿し、東海道と中山道に分かれて競争することになりました。すると、松戸宿の氏子が1日早く到着したことから、真っ先に勧請した福荷で「まさき福荷」になったという説があります。(異説あり)

16 国指定名勝「旧徳川昭武庭園 戸定邸」

戸定邸は最後の水戸藩主であった徳川昭武(15代将軍徳川家茂)の別荘として明治17年に建てられました。この建物は明治前期の上流住宅の姿を良く伝える建物として平成18年に国の重要文化財に指定されました。また、その庭園は昭武第2回パリ万国博覧会(慶応3年)に出席した際に見た庭園をヒントに造らせたと伝えられています。...



お問い合わせ

松戸市役所 街づくり部 都市計画課 TEL.047-366-1111(代表) / 047-366-7372(直通) 【制作協力】 聖徳大学 児童学科 児童文化コース 岩崎樹徳さん、若下孝子さん、高味田美江さん、佐藤和紗さん、先崎真琴さん、田中朗代さん、千葉恵美さん、盛 愛里さん、山下聖梨沙さん、大崎純乃さん、桂 里沙さん、柴山華穂さん 【監修】 聖徳大学 児童学科 神谷明宏、小林明子、塚原 瞳

17 千葉大学園芸学部

明治34年(1901年)に千葉中学の松戸分校が置かれることになりました。A棟辺りの敷地は、水戸藩主・徳川昭武より寄贈されたことと伝えられています。校内には、明治42年から当時の学生が庭園実習によって作庭したフランス式庭園やイタリア式庭園、イギリス風風式庭園、ロックガーデンがあります。...

18 松戸中央公園

ここは明治38年には競馬場が設けられ、大正8年には陸軍工兵学校が開校され、敗戦時には東京工業専門学校と付属電波工業学校が移転し、昭和24年にはこれが千葉農事と共に千葉大学工学部となり、昭和40年までいろいろな形で活用されてきました。特に陸軍工兵学校の名残は、今も公園の入口にある2本の銀杏の巨木とレンガの門柱、歩哨舎に見ることができます。

19 経世塚 (聖徳大学内)

聖徳大学の校門を入ってすぐ左に国府台前の戦い(戦国時代の足利氏と北条氏の合戦)で親子共々討死した若者の乳母が築いたと伝えられる経世塚があります。昔まだ聖徳大学がなかった頃、陸軍工兵学校があった頃に毎年していたお祭りを中止したところ、大きなトラック事故があり2名の兵士が死亡する事故があって、お祭りを中止した祭りであるとして、お祭りを再開したという話が伝わっています。...

20 ふれあい松戸川

江戸川(川)は江戸川と並行した河川があります。これは江戸川の水を安全で良好な水質にするため、坂川の水を江戸川下流へパイプにより流下させる全国的にも珍しい人工河川(流水保全水路)です。この河川は生態系の保全や植物の豊かな生態空間を生み出し、自然の川の姿を再現しています。

21 松戸まつり

松戸駅前周辺を会場に、毎年30万人近くのお客さまにぎわい歴史あるお祭りです。サンバやマーチングバンドを中心とした「音楽パレード」やクラシックカーフェスティバル「全国ふるさと観光物産展」など楽しいイベントが盛りだくさんの2日間。なかでも「戦国絵巻甲冑行列」は松戸手作り甲冑愛好会の協力により、ボール紙で作った甲冑を身につけた武者が乗りまく松戸ならではのイベントです。(毎年10月第1土曜・日曜に開催)

22 松戸宿坂川献灯まつり

かつて、旧松戸宿では、地元の年中行事として松龍寺のとうもろこし市が行われていました。坂川の清流復活を期に、旧松戸宿ゆかりの行事を盛り上げていこうと夏の風物詩として「松龍寺坂川」を舞台とする祭りを開催しています。祭りでは、とうもろこし市、灯籠流しや松龍寺境内の献燈尽くし、カヌー体験、ゆかたコンテストなどのイベントを行っています。また、縁台に座り番・荷提を打つコーナーや、竹馬・おはじきなど昔の遊びのゾーンが設けられ、古きよき時代にタイムスリップすることができます。この日に松龍寺にお参りすれば、四萬六千日参詣したのと同じ利益があるといわれています。(毎年8月9・10日に開催)

23 松戸クリスマスファンタジー

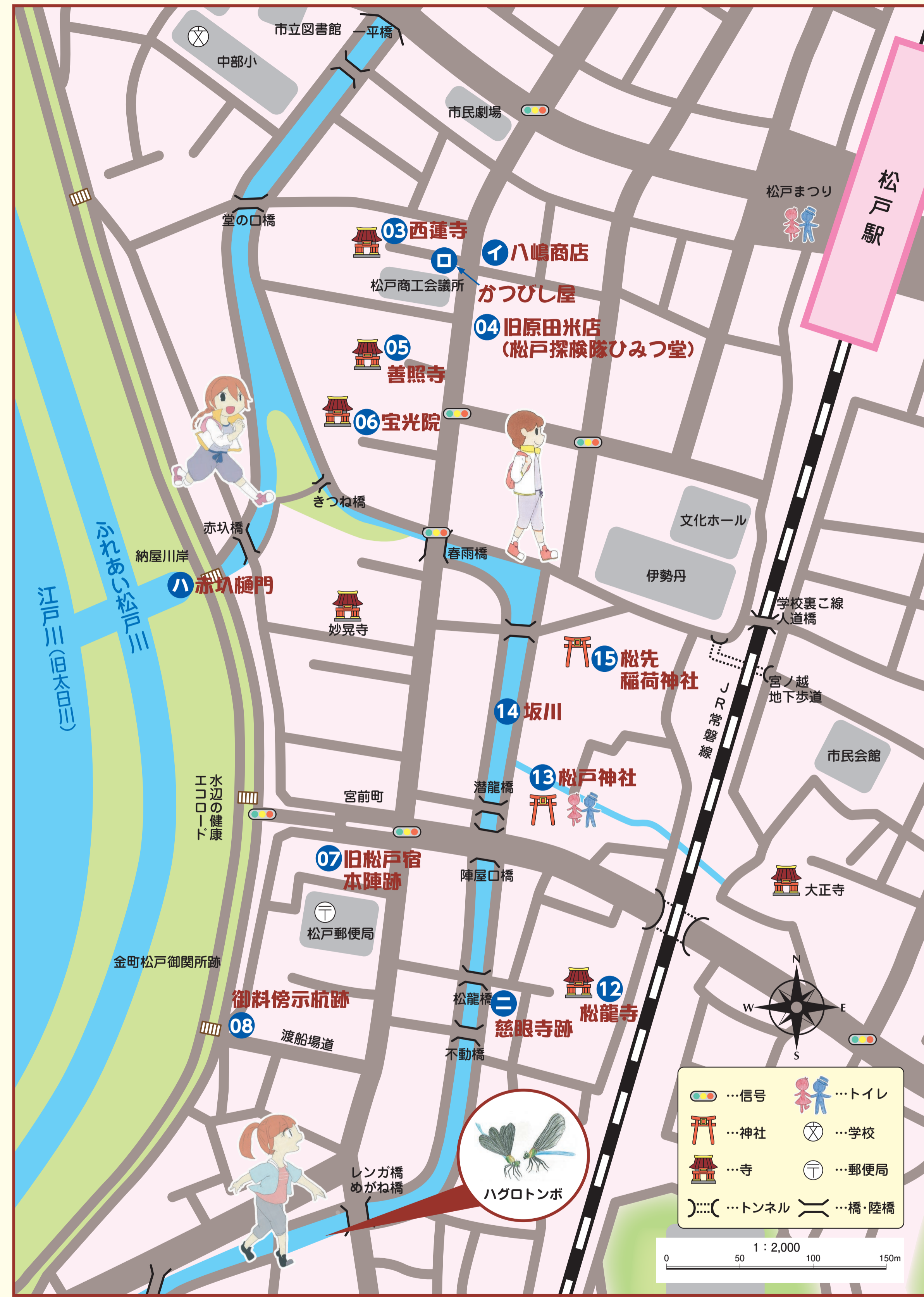
松戸駅前デッキにそびえるシンボルタワー「まつど未来樹」を中心に東口はブルー、松戸東口商店街までを、西口は松戸アト、伊勢丹の他、駅前通りや伊勢丹通りなど、総延長約1Kmをイルミネーションが飾ります。毎週末には松戸駅前デッキにそびえるシンボルタワー「まつど未来樹」を中心に東口はブルー、松戸東口商店街までを、西口は松戸アト、伊勢丹の他、駅前通りや伊勢丹通りなど、総延長約1Kmをイルミネーションが飾ります。

24 まつど花火大会

みんなであげる夢花火をテーマに大手のスポンサーに頼らず、市民や市内の企業の協賛金によって成り立っている市民の気持ちがあめられた花火大会です。江戸川(川)を舞台にスターマインをはじめ、色と音のコラボレーションによる約8000発の花火は、夏の松戸を彩る一大風物詩となっています。なかでもフィナーレの光物「地上花火」は江戸川一面に広がる光の競演を楽しむことができます。(毎年8月の第1土曜日に開催)

● 水とみどりと歴史の回廊マップ(松戸地区) 拡大図 ●

- 03 西蓮寺
- 1 八嶋商店
- かつびし屋
- 04 旧原田米店 (ひみつ堂)
- 05 善照寺
- 06 宝光院
- 07 旧松戸宿本陣跡
- 08 御料傍示杭跡
- 12 松龍寺
- 13 松戸神社
- 14 坂川
- 15 松先稲荷神社



- 08 御料傍示杭跡
- 12 松龍寺
- 13 松戸神社
- 14 坂川
- 15 松先稲荷神社



水とみどりと歴史の回廊マップ 松戸地区



江戸川のふれあい松戸川周辺では、ヨシ、オキなどの草原、樹木が育って、草地とのバランスがよく、山地性の野鳥も越冬のため利用するようになりました。

コミズク	パン
ホオジロ	ヨシゴイ

〔提供 自然通信社 田中利勝氏〕

松戸市役所

市内には有名な流政之先生、利根山 光人先生の彫刻があります

東葛飾合同庁舎

神明神社

PACHIPACHI 太陽

経世塚

せいとくどり

戦いやふれて花が咲く

19 経世塚

聖徳大学

松戸中央公園

岩瀬

モザイクタイル

松戸

戸定邸

戸定が丘歴史公園

千葉県園芸学部

構内にはフランス式庭園やイタリア式庭園、イギリス風形式庭園、ロックガーデンがあります

千葉県園芸学部

浅間神社の極相林

浅間神社前地下道

1 : 3,000